

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023.3.3 ー第3号ー 連合北海道 春季生活闘争本部

道内の経済5団体と労使懇談会を開催

◆すべての労働者の賃金と労働条件の改善を

連合北海道（会長：杉山 元）は3月3日（金）、道内の経済5団体（北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体中央会）と札幌市内で労使懇談会を開催し、今次春季生活闘争の連合の考え方を説明するとともに、賃金の引き上げや雇用の安定、ジェンダー平等・多様性の推進などについて経済界の協力を求めた。

そのなかで杉山会長は、「産業・企業・経済・社会の活力の原動力である『人への投資』、特に月例給の引き上げにこだわる。『底上げ』『底支え』『格差是正』の取り組みを加速させ、働き方の改善と経済対策をセットにして経済を自立的な回復軌道にのせる重要な春闘である。」と述べたうえで、「賃上げの原資確保が困難な会社もある。『価格転嫁』や『適正取引』の実効ある取り組みは、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配に直結する」と社会全体での底上げの必要性を訴えた。

北海道経済連合会の真弓会長からは、「多様な選択肢の中から自社の実情に適した賃金の引き上げを実施すべき。処遇改善には原資が不可欠であり『サプライチェーン全体での成長と分配の好循環』や適正な取引や価格転嫁の取り組みが大変重要」と述べ、労使が目指している社会像の認識が一致していることが伺えた。

トラック運輸など輸送分野の組合が加盟する運輸労連出身の森下副会長は、「運送業界においても2024年4月から残業時間の上限規制が始まり、不十分ではあるものの長時間労働が少しは解消される。ただ、依然として賃金の低いトラック業界は、この産業の魅力をなくし、ドライバーのなり手がいなくなり、多数の荷物を配達出来ない社会がすぐそこにやってくる。賃金を引き上げ、働く人が魅力を感じる産業とするためには、適正な運賃の収受しかない。」と述べ、適正な運賃交渉ができる環境整備への協力を要請した。



要請書を手交する杉山会長(右)と真弓会長



協力を要請する森下副会長



労使懇談会の会場

連合北海道2023春季生活闘争・統一地方選挙勝利！！

3.10全道総決起集会

- 日 時：2023年3月10日（金）18時～
- 場 所：共済ホール（札幌市中央区北4条西1丁目）

昨年まで春闘ニュースと妥結情報をそれぞれ発行しておりましたが、今年から春闘ニュースにまとめて掲載することといたしました。あらかじめご了承ください。